

## 新宮山彦ぐるーぷ第2267回

### 持経宿の整備と水場上の貯水槽撤去

◇実施日 12月3日(日) 曇時々晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、梶野照雄 3名

沖崎さんから電話で「持経宿へ薪を追加し、お堂物入れのカビ対策をする」と連絡があった。持経宿には先週行ったばかりだが、お天気も良さそうなので再び行くことにした。



持経宿に着く

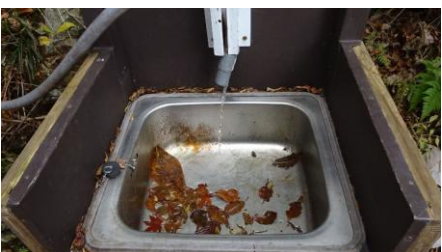
マキを収納

お堂の床下を調べる

午前9時前にスポーツ公園駐車場に着く。今日は3人だけなので、沖崎車1台で持経宿に向かう。1時間かからずに持経宿に到着、マキやスノコを降ろしお堂の物入れを調べる。物入れの床は外せるようになっていて、底に四角い箱のようなものが見えた。1m位の深

さで上から手が届かなかった。床を全部外して底に降りる必要がありそうだ。持ってきたスノコが少し大きいので10cmほど切つて短くし、物入れの床と同じサイズにした。

今日は作業が少ないので何かすることがあるか？と聞かされていたので、長い間手付かずだった水場上方の貯水タンクの撤去を提案。貯水タンクは2019年11月に存在を確認していた。午前10時過ぎに水場へ向かう。



水場の流れは少ない

水場上の貯水タンク

タンクを分解

水場の流れは先週の半分くらいになっていたが、まだ暫くは流れているだろう。今年は雨が少なく気温も高いので、持経宿の水場も涸れる心配がある。

水場のすこし奥から登りだし、約10分で貯水槽に着く。貯水槽は持経宿小屋にあったものと同サイズで、容量は1トンと思われる。上下と垂直部分、6枚のパネルがボルトで留められている。サビていないボルトは簡単に外れたが、底部分で土に埋もれていた

ボルトがかなりサビで、2本だけ外れなかった。パネル同士を無理やり引つ張り、穴の部分を割って分割した。分解した貯水槽は水場の谷筋を滑り落とす予定で、下に投げ落とした。5mほど下で倒木に引つ掛かって止まっている。今後林道脇まで落として回収したい。外したボルト、ナットは回収して持ち帰った。



分解完了

ホースを撤去する

回収したホース

貯水槽の撤去が終わり、谷の向こう側に見えているホースの回収に向かう。40mほどを外して下に降りたが、着地点は水場の持経宿側だった。水場の奥から登って水場の手前に降りたことになる。

水場の上に貯水槽を設置し、ホースを持経宿小屋迄引いた先輩諸氏に敬意をはらいたい。

水場での作業を終え小屋に戻って昼食を摂る。食後、毛布の下にスノコを入れる。毛布3列分にスノコが敷けたが、あと1列分が足らなかった。スノコはまだあるようなので、次回持ってきて敷きたいと思う。毛布のスノコが終わり、お堂のスノコ敷にかかる。開け

ていた床を戻し、スノコを置いて入っていた物を元通りに入れて終了。写真を撮って下山した。



毛布下にスノコ

お堂内にも

本日の参加者

スポーツ公園駐車場から浦向の上平氏宅に向かう。行仙宿モノレールの延伸完工を山林所有者の上平氏に報告するためだったが、あいにく上平氏は外出中でお会いできず、お隣のご子息宅を訪ね、伝言をお願いして帰宅した。  
(記：梶野)

### 行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:50→09:38 持経宿→10:27 水場 11:55  
→12:05 持経宿 12:57→13:45 スポーツ公園駐車場